



す が お

No.46

養護老人ホーム
松楓園 情報誌

初夏を迎えて



草木の葉の清々しい緑色に、浅き夏を感じるようになり、ふと思えば今年も早、半年を迎えようとしています。

初夏を迎えて、利用者の方々は自然に恵まれた環境で、季節の移り変わりを肌で感じながら元気に生活を楽しんでいきます。その姿を目にする度に、いつまでも健康で生活できる環境を提供していきたいと思えます。ですが、その思いとは裏腹に養護老人ホームを取り巻く環境は厳しさを増すばかりというのが現状でもあります。

平成十八年度の法改正

により養護老人ホームは新型養護老人ホームとなり、生活の支援が主な業務となりました。以前の介護職員は支援員へと変わり、介護が必要な利用者は外部の事業所から介護サービスを利用するこ

とになり、支援員数は大幅に減少となりました。しかし、介護サービスの利用は極一部の時間帯に限られ、特に夜間は一

人の支援員が介護や看病を必要とする利用者を含め、百名の生活に責任を負わなければならないのが現状です。

管によるサービス付き高齢者向け住宅制度が始まり、生活支援サービスと生活相談が中心となる養護老人ホームの役割と重なる事になります。

これにより、今後養護老人ホームには精神疾患者・被虐待高齢者・要介護者等の受け入れが求められる、更に厳しい状況になる事が予想されます。

前述させていただいたように、支援員を始めとする職員は、精一杯の努力を続けていますが、利用者には快適な生活を提供し続けるためには、職員個々のスキルアップを図り、更なる努力を続けていきたいと思えます。

相談員 内倉



塩船観音 つつじ見学



外出支援では4月のさくら見学に続きまして、5月7日・10日に青梅市の塩船観音の「つつじ見学」に出掛けてきました。当日は初夏の日差しを思わせる好天で、満開に咲き誇るつつじに目を奪われながら、散策を楽しむ事が出来ました。



「煙を頭にかぶると頭が良くなるらしいよ」「いや体にかけて健康になるのよ」と笑い声も賑やかに、煙にむせながらお参りを楽しんでいました。願い事は「秘密」と教えていただけませんでした。



初夏の陽ざしに誘われて お茶飲み会

園庭のチューリップやスイセン等の色鮮やかな花が満開に咲き、春の風が吹き、心地良い季節となりました。松楓園では出来るだけ沢山の方に春を感じて頂きたく、足元が不安定であり、外出する機会が少ない利用者の方を中心に園庭でお茶飲み会を実施しました。

園庭でお茶を飲みながらお菓子を食べ、会話を交えながら草花の観賞を行いました。利用者の方々より「春の風がとても気持ちがいい」「チューリップや色々な花が綺麗ですね」との声が聞かれ、笑いが絶えない時間となりました。 支援員 鈴木



端午の節句

5月5日の端午の節句には、「行事食」「柏餅」「菖蒲湯」と古き良き時代の風習を満喫する一日となりました。



利用者投稿コーナー

園庭の緑をもとに利用者の皆さんが
素敵な句をしたためて下さいましたの
で、ご紹介させて頂きます。

新緑に余命を託し健やかに

樹々の間を彩あざやかに墓地つつじ

森阪 ヤ工様



五月雨の雲間に映える園庭に

紫冴える露草の花

青木 浩世様



皆さま、

素敵な作品を有難うございました

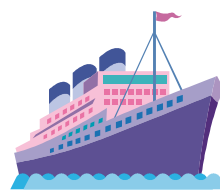
『思い出の記』

加藤ひさ様

昭和十五年三月当時の
国民学校高等科を卒業と
同時に南多摩郡日野の東
洋時計工場に入社して二
年近くになろうとした
時、父から手紙が来て、
上海の叔父から誰か上海
に来て働いて呉れる人は
いないかと言って来たん
だが：私に行かないか？
と有りました。私は上海
と聞いただけでもう飛び
はねる様に行き度いと思
いました。

まだ日本の中の何慮も
知らない私なのに：叔父
が休暇で日本に来て私と
妹の同級生二人と妹と四
人を連れて上海に行く事
になりました。

東京から九州え、たしか
下関だったと思います。
船に乗り朝鮮に渡り大陸
廻りで一週間後に上海に
着きました。



陸軍登一六四三部隊・軍

馬防疫しようと言う百

五・六十人の軍人と軍属

の部隊で本部(庶務)(経

理)(人事)作業部(二科)(二

科)(三科)既舎部と分れて

居て私は既舎部小動物に

勤務することになりました。

た。兎・モルモット・二

十日ネズミの採血を見た

り朝と夕方の餌やりをし

たりの仕事でした。私達

女子の宿舎は営外の中国

人二軒の家を借りて住ん

で居ました。毎日朝御飯

までに営内に行き紺の従

軍服から白衣に着替えて

朝食を食べて各部所に行

きます。

十八年頃はまだ上海は米
軍の空襲と云う事はあり
ませんでしたが、十九年
になると空襲警報のサイ
レンが鳴る様になりました。
た。そのたびに控室まで
走って行って白衣から紺
の従軍服に着替えなけれ
ばなりませんでした。

日本に帰ってきてお昼を
知らせるサイレンがあつた
当時はまだサイレンでお
昼を知らせてました。そ
のサイレンを聞くたびに
思い出したものです。
短歌作りましたので：

昼知らす

サイレン聞けば

思い出す

白衣で走り

叱られしはを

貴重なお話を

有難うございました。

【事故報告】

23年度に提出された事故報告は8件であり、内7件が転倒によるものでした。自主・自立が前提となる養護老人ホームでは、職員だけではなく、利用者の危機意識の向上が事故防止には不可欠であり、今後も事故防止の課題として取り組んでいきます。ヒヤリハット報告・メモについては、職員の事故を未然に防ぐ意識を高め、日常に潜む危険性を察知、改善する能力の向上を目的として活動しました。活動内容は転倒予防講習会・各種懇談会・手作り壁新聞等を利用して、利用者の方々にお知らせし、事故に対する危機意識を共通認識として事故防止に努めました。

右表は、利用者個々の身体能力・転倒リスクを把握し、適切な対策を講じる為に行っており、23年度の事故報告にヒヤリハット報告を含め、転倒に関連する11件を基に要因割合を出したものです。(この一年間に転倒された方の80%以上は今年も転倒をされています)下表につきましては、全利用者の右表のチェック項目数の集計となります。

各ランク別集計	松楓園全体(3/9時点)	転倒者(3/31現在)	転倒発生率
Aランク(0~3点)	30名	0名	0%
Bランク(4~6点)	28名	2名	3.6%
Cランク(7~9点)	28名	3名	10.7%
Dランク(10~12点)	11名	6名	54.5%
Eランク(13~15点)	3名	0名	0%
合計	100名	11名	11%

転倒リスクチェック表 各項目別転倒要因割合		該当件数	発生割合(11件中)
1	この一年間に転倒したことがある	9件	81.8%
2	エレベーターが閉じる前に乗り降りができない	0件	0%
3	階段の上り下りが出来ない。	8件	72.7%
4	杖やシルバーカーの使用を忘れることが多い	2件	18.2%
5	歩く速度が遅くなってきている	8件	72.7%
6	ベットからの寝起きが不安定である	7件	63.6%
7	片足で立つ事ができない	8件	72.7%
8	目まいや体のふらつきがある	6件	54.5%
9	眠前薬・降圧剤・精神安定剤を服用している	7件	63.6%
10	夜間、トイレに出かける回数が多い	7件	63.6%
11	物忘れが良くみられる	5件	45.5%
12	目があまり良く見えない	2件	18.2%
13	慌てて行動することが多い	1件	9.1%
14	自分の体力を過信している。理解していない	9件	81.8%
15	ほとんど自力で外出したことがない	7件	63.6%

養護老人ホーム松楓園平成23年度決算報告書

1. 貸借対照表平成24年3月31日

(単位千円)

勘定科目	金額
I 資産の部	155,587
II 負債の部	47,166
III 正味財産の部	108,421
(うち当期正味財産増加額)	△3,063
IV 負債及び正味財産合計	155,587

2. 収支計算書自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 (単位千円)

勘定科目	金額
経常活動資金収支差額①	2,876
施設整備等資金収支差額②	△588
財務活動等資金収支差額③	△1,100
当期資金収支差額合計④(①+②+③)	1,188
前期末支払資金残高⑤	4,103
当期末支払資金残高⑥(④+⑤)	5,291

3. 事業活動計算書自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 (単位千円)

勘定科目	金額
事業活動収支差額①	△4,591
事業活動外収支差額②	1,528
経常収支差額③(①+②)	△3,063
特別収支差額④	0
当期活動収支差額⑤(③+④)	△3,063
前期繰越活動収支差額⑥	△1,566
その他の積立金取崩額⑦	0
次期繰越活動収支差額⑧(⑤+⑥+⑦)	△4,629

4. 財産目録平成24年3月31日

(単位千円)

勘定科目	金額
資産合計①	155,587
負債合計②	47,166
差引正味財産③(①-②)	108,421

施設見学

特別養護老人ホーム 第二徳寿園

四月二十三日、「特別養護老人ホーム 第二徳寿園」に施設見学をさせて頂きました。当日は安藤施設長を始め、大勢の方々にご協力を頂き、日常生活の介護の取り組みや認知症・精神疾患者の具体的援助方法を勉強させて頂く事が出来ました。今回の貴重な体験を今後のサービ스에活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



養護老人ホーム 安立園

五月三十日に「養護老人ホーム 安立園」に施設見学をさせて頂きました。同じ養護老人ホームとして、共有する課題や取り組みについての情報交換会では、多くの事を学ばせて頂くことが出来ました。このたびは浅原施設長・日高副施設長を始め、大勢の職員の方々に貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。



行事予定

居室移動

六月二十一日に全居室移動を予定しています。利用者の方々の希望に副った居室移動が行えるように準備を行っています。

七夕



七月七日には七夕を予定しています。手作りの七夕飾りと短冊に願いを込めて、古き良き風習を楽しみます。

夏の集い



七月十九日に夏の集いを予定しています。当日は屋台やゲームを楽しみ夏祭りの雰囲気を楽しみます。

【編集後記】

松楓園では、毎月利用者の方々の誕生日をお祝いする誕生会を行っています。今号の「広報誌すがお」より、誕生会の様子やお元氣な姿を写真にして、ご家族に同封させていただきます。

「広報誌すがお」と共に、利用者の方々の松楓園での生活の様子をお伝え出来ればと思っています。

広報誌編集委員会

発行者 社会福祉法人松楓会
養護老人ホーム松楓園
住所 東京都 あきる野市
菅生1159番地
電話 042-558-7010 (代)
<http://www.showhoen.jp/>